

ゆめ花火



◆ゆめ花火とは？

筑波大学附属病院に入院している子どもたちが「夢の花火」をテーマに描いた絵を、筑波大学学園祭後夜祭で実際の「ゆめ花火」として打ち上げる企画です。打ち上げ日の2013年11月4日は、花火の絵を描いた患児、および附属病院において診療中の患児とその家族を招待し、花火を筑波大学内の教室で鑑賞しました。

◆当日の流れ

花火鑑賞前に、子どもたちは「キラポン」という名の工作を行った。絵を描けば完成し、光って身につけられるものです。

外来から、花火鑑賞教室まで移動するためのバスには学生スタッフで飾り付けを施しました。参加者はバスで移動し、ちょっとした遠足のような気分を味わいました。

予め飾り付けておいた教室に着き、全員での記念撮影を行いました。病院長の五十嵐先生からお話をいただき、打ち上がる花火の原案（子どもたちの絵）の紹介を、紙芝居のようにお話形式で行いました。自分の絵が紹介されると、子どもたちは嬉しそうにしていました。



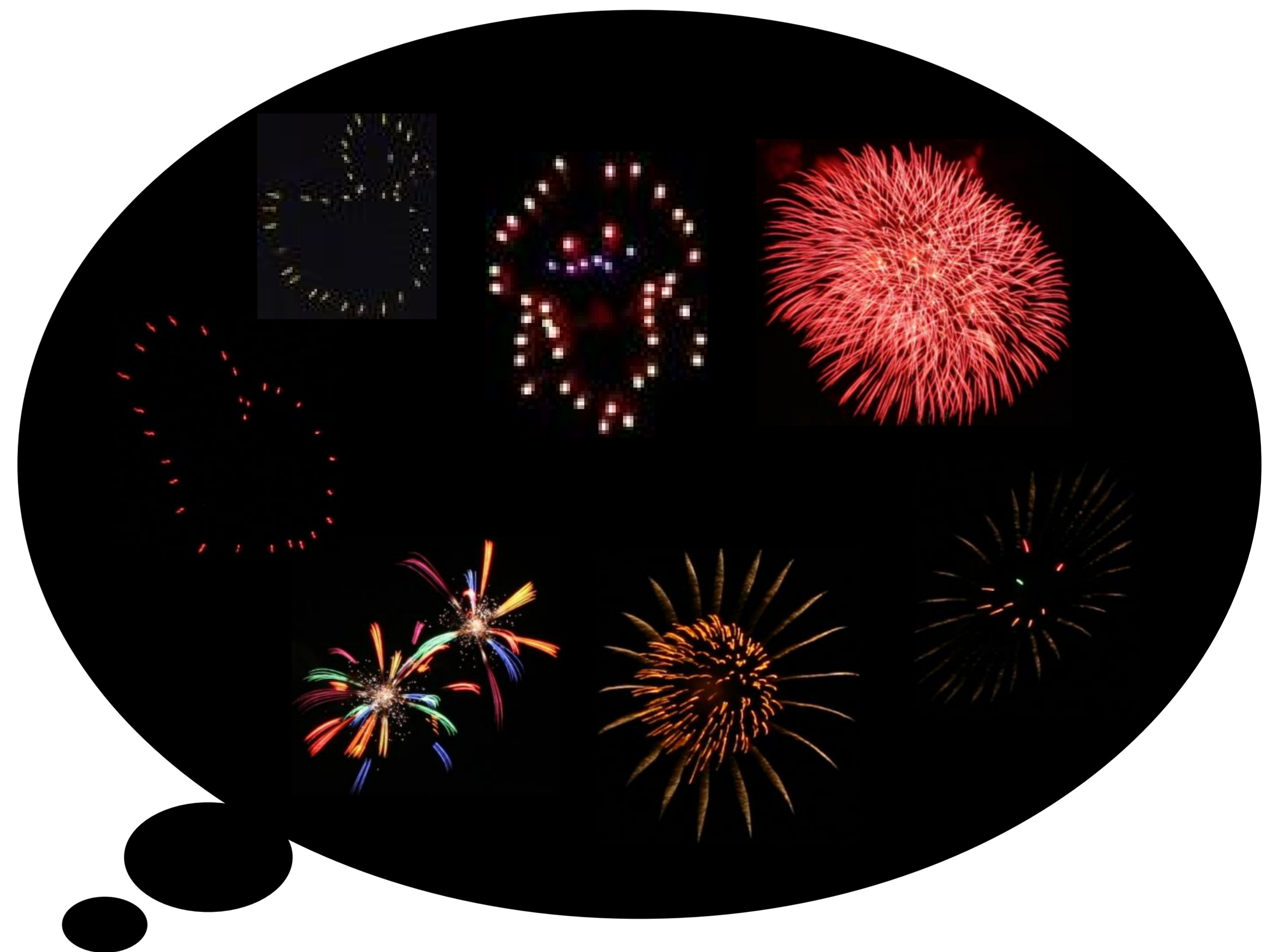
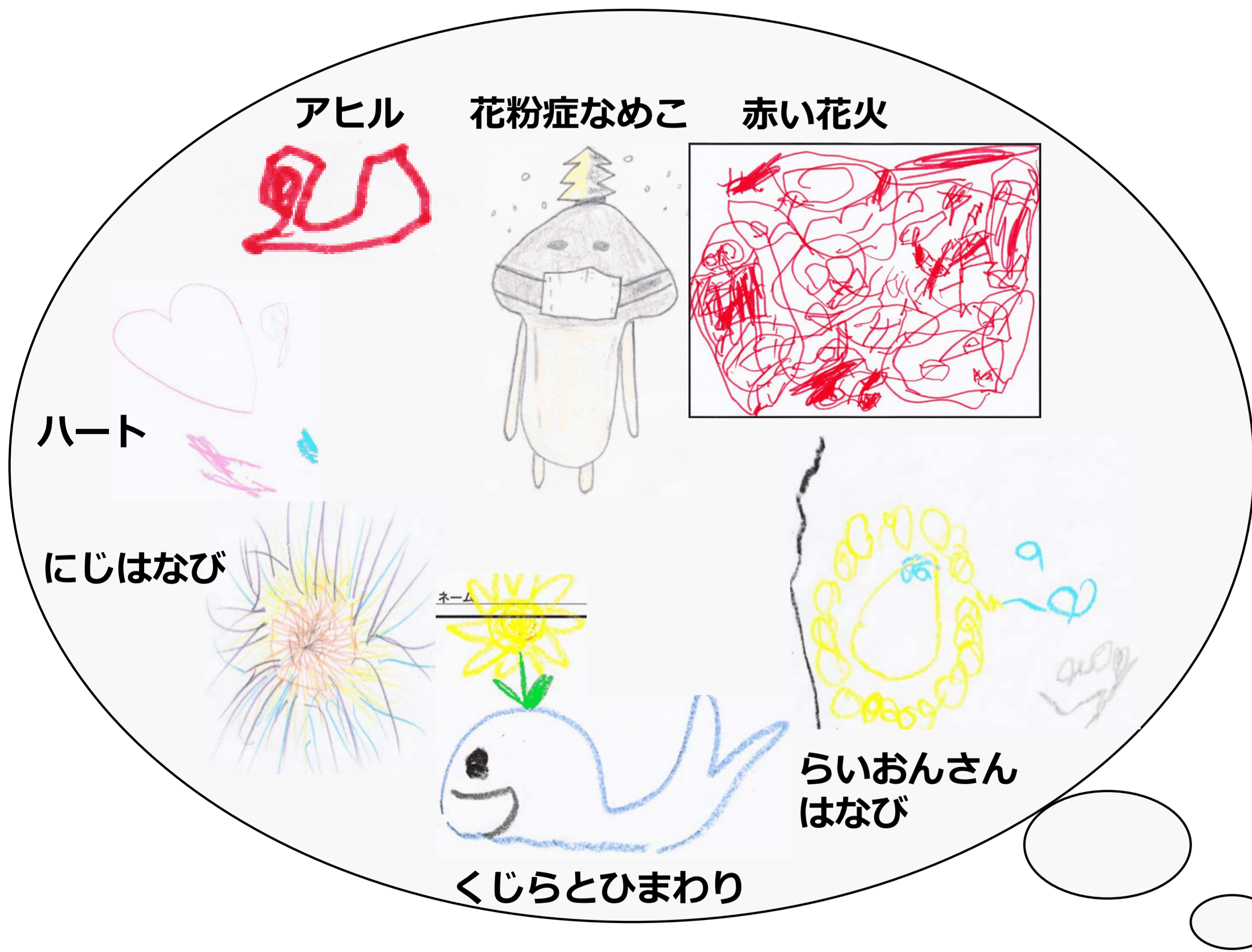
20時10分から5分間、全53発のゆめ花火の打ち上げがあり、鑑賞しました。ハート、ト音記号などのかわいいモチーフから、電車やクジラ、なめこなど、一風変わったイラストまで、様々な子どもたちの絵が夜空に打ち上がりました。また学園祭のフィナーレ花火も鑑賞しました。近くで見る花火は、音、大きさ共に迫力があり、子どもたちは歓声をあげていました。

鑑賞後はバルーンアートをプレゼントとして配布しました。男の子は剣のアートを振り回して喜んでいました。

バスで帰院し、解散しました。

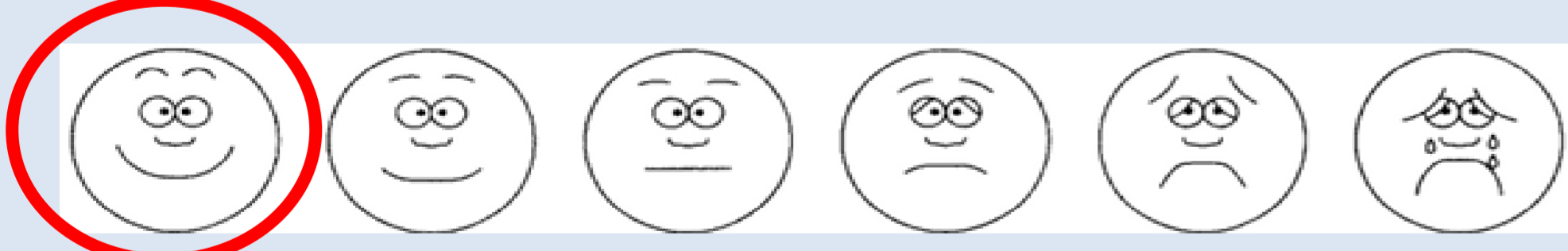


◆打ち上がった花火の紹介（左：子どもたちの絵とタイトル 右：それに対応した花火）



◆子どもたち/保護者の感想（終了後アンケートより）

□アンケート1.お子さまにお聞きします。
ゆめ花火の満足度はどれくらいですか？1つ丸をつけてください。



→全ての参加者に、満足度の最も高い評価をいただきました。

□アンケート5.全体を通して感想をお願いします。

- ・楽しくすごせました。ありがとうございました
- ・自分でかいた絵が花火になってうれしかった。
- ・とても楽しい時間をありがとうございました。こんなにうれしい事は久しぶりでした。
- ・すばらしいイベントでした。ぜひ続けてください。
- ・予想以上に花火がすごくて感動的だった。
- ・子どもも親もとても楽しめました。ありがとうございました！！
- ・子どもが楽しく笑顔で過ごしている姿を見れば本当にうれしく思います。
- ・運営に携わっていただいた皆様に心から感謝申し上げます。ありがとう。子どもは笑顔が一番。
- ・徐々に入院中のおともだちに会えてはじめてからおわりまでテンション高く楽しめました。ありがとうございました。また来年も参加したいなあ
- ・学生のみなさんお疲れ様でした。今年初めての参加でしたが、とても楽しかったです。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・花火がすごくキレイで来年もつづけて欲しいです。大きな花火でびっくりしました。
- ・楽しかったです♥おつかれさまでした！
- ・良かったです（欄外にお子さんの字で「ありがとう。たのしかったです。」）
- ・すごく子どもたちがうれしそうでした自分の書いた花火が上がるなんて、一生の宝物のような経験だったと思います。本当にありがとうございました。どうかこれからも毎年子どもたちの夢をかなえてあげてください。
- ・想像以上によかったです。大変でしょうが継続をお願いします。

◆ゆめ花火の評価

「ゆめ花火」は平成25年度下半期T-ACT最優秀賞を受賞いたしました。

筑波大学附属病院のホームページ、筑波大学の広報誌である「Tsukuba Communications」、「Students」、また筑波大学医学同窓会である桐医会の広報誌「桐医会会報」に実施報告を載せていただきました。

◆最後に

私達は、闘病中の小児患者に夢と希望を与えたい、そんな思いから集まった筑波大学医療系学生団体「つくばけやきっず」として活動しています。

昨年度から団体として発足した私達は、社会貢献プロジェクトに採択していただき、花火製作費を補助していただきました。誠にありがとうございました。

今年度は新たなメンバーを加え、より幅広い活動を精力的に行っていく所存です。活動報告はブログやfacebookで行っております。ぜひ「つくばけやきっず」でぜひ検索してみてください。これからもよろしくお願いたします！

